

3 開かれた学校づくり

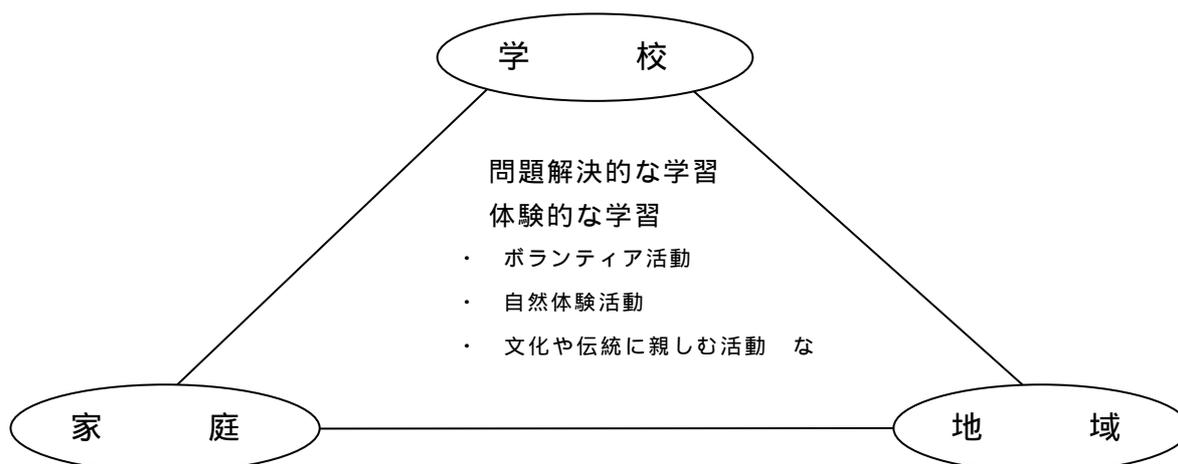
開かれた学校づくりは、「魅力ある」学校づくりを進める上で不可欠なものです。学校教育において豊かな学びの世界を構築していくために、家庭や地域の教育力を生かすとともに、人間的交流や社会的交流を深める取り組みを進めましょう。

(1) 学校・家庭・地域の連携

地域社会の教育力の活用

子どもに多様な学習の機会を提供するなど、「魅力ある」学校づくりを進めるとともに、指導者についても外部の多様な人材に協力を得るなど、地域の教育力を積極的に生かして学校と地域社会のつながりを強め、開かれた学校づくりを進めることが大切です。

その中で、自分を取り巻く生活領域や周囲の人々が自分にとって意味ある存在であることを子ども自身に気づかせ、それぞれの夢や目的意識を育てることが大切です。



保護者や地域・関係機関との協力体制

不登校傾向の子どもがどのような状態にあり、どのような支援を必要としているのか正しく見極める（アセスメント）ことが必要です。そして、保護者・地域・関係機関の代表者の間で、情報を共有することによって協力体制を築き、的確かつ迅速な対応（行動連携）を効果的に行うことが大切です。

〔的確かつ迅速な対応（行動連携）のための留意点〕

校内支援体制の確立〔p.35 参照〕

- ・ 役割分担の明確化（学校と関係機関）
- ・ 担当者の明確化

保護者との十分な連携

情報交換の充実〔すこやか協力者会議，民生委員児童委員など〕

